歴史資料保全ネットワーク・徳島

2012年9月12日設立　sudachi.shiryo@gmail.com　代表 高橋 啓（鳴門教育大学元学長）
【連絡先】〒772-8502徳島県鳴門市鳴門町高島字高島748　鳴門教育大学社会系コース町田 哲研究室　2022.2.14作成

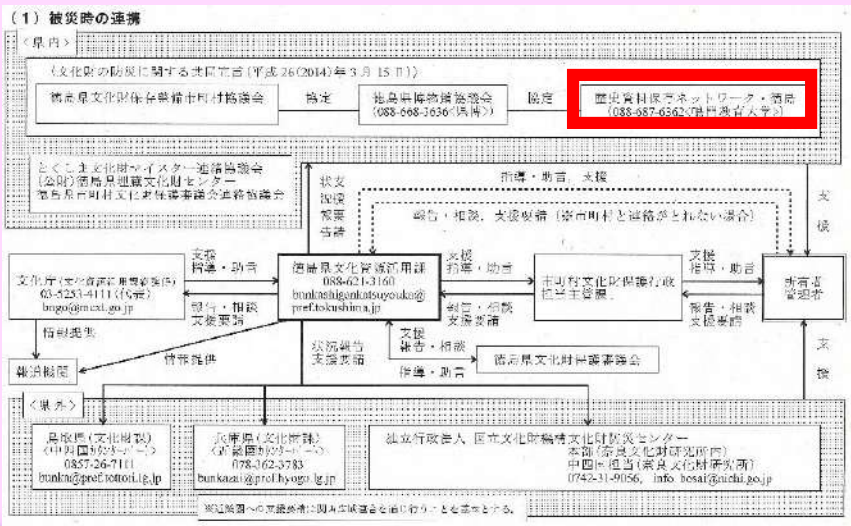
徳島史料ネットとしての活動は少ないですが、同じ「志」を持つメンバーがそれぞれの場で活躍

1．徳島県立博物館、常設展をグランド・リニューアル！

―生まれ変わった新展示に、徳島史料ネットの活動を紹介―

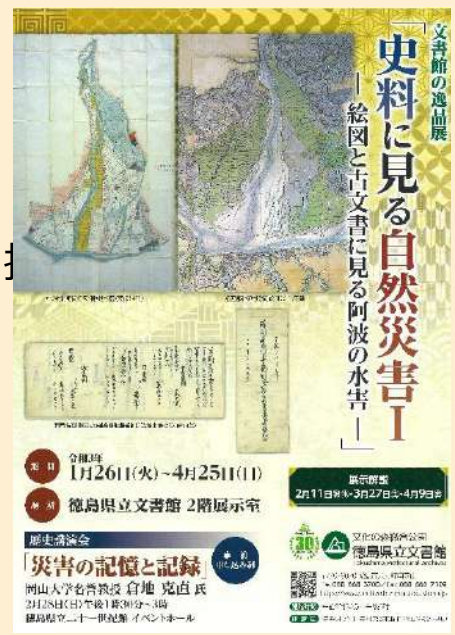
●2021年8月、徳島県立博物館の常設展が、リニューアル・オープンしました。一新された展示室の一角に、徳島史料ネットの活動も展示され、その意義が示されました。全国の皆さま、COVID-19が収束したら、ぜひ徳島県立博物館へ！

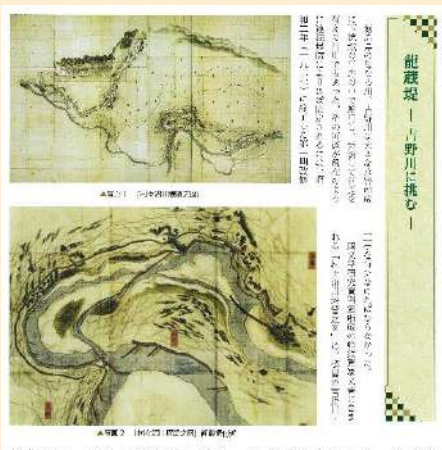
2．徳島県「文化財災害等対応マニュアル」改訂



●2021年4月に、徳島県が文化財災害等対応マニュアルを改訂しました。
●被災時の連携組織として、徳島史料ネットなどが新たに位置づけられました。具体的な関係深化が今後の課題となります。

3．徳島県立文書館「史料に見る自然災害Ⅰ」展示





●2021年1月～4月に、文書館の逸品展で、絵図と古文書から阿波の水害を紹介しました。吉野川や那賀川の災害の歴史を掘り起こし、多くの市民の関心を呼び起こしました。
●また、災害関係の歴史資料の発掘・啓発の一連の取り組みが評価され、2020年度大阪管区気象台長表彰を授与されました。

4．地震津波碑の新研究

「日本最古の津波碑」とされてきた「康暦碑」（美波町東由岐）は、実は地震津波碑ではありませんでした。これが津波碑とされてきた問題性を、桑原恵氏（徳島大学教授）が、徳島地方史研究会『史窓』51号に発表しました。